

# 半導体漫遊記

## 湯之上隆

99

あらゆるモノとモノがネットにつながる、モノのインターネット（IoT）がブームである。米スコンシステムスは、2015年に250億個、20年に500億個の機器がネットにつながる」と予測している。また、米IDCは、関連機器やソフト・サービスの市場規模が20年に7兆6500億に膨らむと推定している（日経新聞14年6月17日）。

しかし、モノとモノがつながると、なぜかのような巨大市場が誕生するのだろうか。どうにも納得できなかった。

「未来予測」を開店時間は何時「な」犯罪なのだろうか？。IoTを用いた未来予測がすでに始まっていることを紹介して

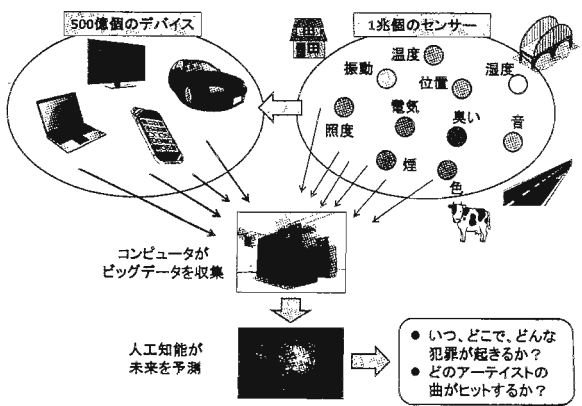
カリフォルニア州サンタクルースは、犯罪の予測システムは、過去の犯罪記録をパターン化し、現在のビッグデータと照合して、いつ、どこで、どのような犯罪が起きるかの楽曲はメロディー、リズムなど、70の要素に分解し、ヒット曲のパターンを分析すること、ニューヨークのパロディを果たし、さら

# モノのインターネット「IoT」

# 「未来予測」を実現

どこまで予測できるか？を視察して、やっど何たるかが分かった。年間12万件ペースで発生している過去の犯罪記録を全て人工知能に読み込ませた上で、「どの街灯が故障する可能性があるか」という。この分類に基づいていたメリルさんは、音楽業界では、こう

「IoTの本質を示すキーワードは、「セン」で発生している過去の犯罪記録を全て人工知能に読み込ませた上で、「どの街灯が故障する可能性があるか」という。この分類に基づいていたメリルさんは、音楽業界では、こう



IoTは未来を予測する

って発見されており、45年にはヒット曲そのものを人工知能が作る時代になるかもしれない。センサがデータを発信し、それらビッグデータがコンピュータが収集し、人工知能がデータ間の因果関係を見つけて未来予測する。すると、「風が吹けば桶屋が儲かる」といった、一見すると可能性が低そうな因果関係を発見することも簡単にできるようになるのだ。IoTで7兆6500億の市場は、こうして誕生すると考えられる。そんな時代は、もう、すぐそこまで来ているように思われる。

（微生物加工研究所・所長）